

神戸市感染症発生動向調査週報

2017年 4月 18日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第 15週 平成29年4月10日 ～

平成29年4月16日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	5	5	23	3	14	2	2	10	16	80		1	3	4	5	12	7	8	6	1	3	3	5	4	2	8	1	5	2	

小児科

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
R S ウイルス感染症	3			1	1		3	1	6	15	2	3	6	3	1									
咽頭結膜熱						1		3	3	7			1	2	2	2								
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎		13	1		4	1	3	12	2	36			5	3	6	8	6	2	2	2		1		1
感染性胃腸炎	13	14	9	5	29	7	34	74	29	214	1	14	26	31	23	22	25	5	12	8	5	16	7	19
水痘	3		1		1				2	7								4		2	1			
手足口病	1	1					1			3			1	1		1								
伝染性紅斑						1		1		2				1		1								
突発性発疹	5	1			1	1	3	3	3	17		7	7	2	1									
百日咳					2		1			3	1									1				1
ヘルパンギーナ	2		1						1	4			1	2					1					
流行性耳下腺炎	4	1	2		6	3	4	3	9	32			1	1	4	2	4	2	6	3	5	3		1

海外で感染し、国内に持ち込まれた麻しん事例が全国で散発しています。現在、モンゴル、中国、マレーシアや予防接種率の低いアフリカ、南アジア、欧州などで流行が起こっています。麻しんは、空気感染し、感染力が強く、手洗い、マスクでの予防はできません。帰国後、3週間以内に典型的な3症状(発熱・発疹・カタル症状)があった場合は、病院を受診し、渡航歴を伝えましょう。またゴールデンウィークで海外へ出かける人が多くなりますが、その際には、検疫所や外務省が提供している感染症情報で渡航先の感染症流行状況を確認し、その感染症に応じた予防対策を行いましょう。

[ゴールデンウィーク中に海外渡航される方へ](#) (厚生労働省のホームページ)

眼科

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎									2	2									1						1				
流行性角結膜炎				1		1		1		3													1	1			1		

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

東灘区○ロタウイルス感染症3例:3～5歳 男女
灘 区○おたふくかぜ+溶連菌2例:4～5歳 女
中央区○アデノウイルス感染症1例:9歳 男
○ロタウイルス感染症1例:3歳 女
北 区○アデノウイルス感染症3例:1～10歳 男女
垂水区○細菌性腸炎(カンピロバクター)2例:年齢性別不明
○ヒトメタニューモウイルス感染症2例:年齢性別不明
垂水区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:1歳 女
西 区○アデノウイルス感染症1例:5歳 女

基幹定点 (市内 3ヶ所) からの報告

・ロタウイルス胃腸炎2例(入院):0～3歳 女

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は16人(うち潜在性結核感染症5人)です。

【市内の感染症の状況】

- ・ロタウイルス感染症の患者が増加しています。
- ・インフルエンザの定点あたり患者数は **1.7人**(先週 2.2人)と減少し、流行終息のめやすとなる定点あたり患者数 1.0人に近づいています。
- ・インフルエンザ定点機関からの報告で、B型インフルエンザ陽性患者がA型インフルエンザ陽性患者を上回りました。

(インフルエンザ定点機関から報告された迅速キット陽性情報)

A型	B型
23	31

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [【検索】](#)

[「ILI情報センター」ホームページを開設しました！詳細はこちらをクリック](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2017年4月18日 作成

全数把握対象感染症発生状況（五類感染症 後天性免疫不全症候群）

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	20代	-	2017年2月9日	2017年2月9日	無症候性キャリア	ELASA法 Western Blot法 PCR法	-	異性間性的接触	左頸部リンパ節腫脹あり

全数把握対象感染症発生状況（五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症）

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
女	70代	2017年4月3日	2017年4月3日	2017年4月3日	G群	分離・同定による病原体の検出（血液・膿）	ショック 軟部組織炎 全身性紅斑性発疹	不明	

全数把握対象感染症発生状況（五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症）

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2017年4月7日	2017年4月10日	2017年4月10日	-	分離・同定による病原体の検出（髄液・血液）	発熱・髄膜炎 意識障害 菌血症	不明	ワクチン接種歴なし
男	70代	2017年4月5日	2017年4月5日	2017年4月6日	-	分離・同定による病原体の検出（血液）	全身倦怠感 食思不振 菌血症	不明	ワクチン接種歴不明
女	40代	2017年4月4日	2017年4月9日	2017年4月10日	-	分離・同定による病原体の検出（血液）	発熱・咳 肺炎・菌血症	不明	ワクチン接種歴不明
男	60代	2017年4月6日	2017年4月13日	2017年4月14日	-	分離・同定による病原体の検出（血液）	発熱・咳 全身倦怠感 肺炎・菌血症	不明	ワクチン接種歴なし
女	60代	2017年4月11日	2017年4月14日	2017年4月17日	-	分離・同定による病原体の検出（血液）	発熱 全身倦怠感 菌血症	不明	ワクチン接種歴なし

全数把握対象感染症発生状況（五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症）

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2017年4月12日	2017年4月12日	2017年4月14日	-	分離・同定による病原体の検出（血液）	発熱・肺炎 菌血症 多臓器不全	不明	

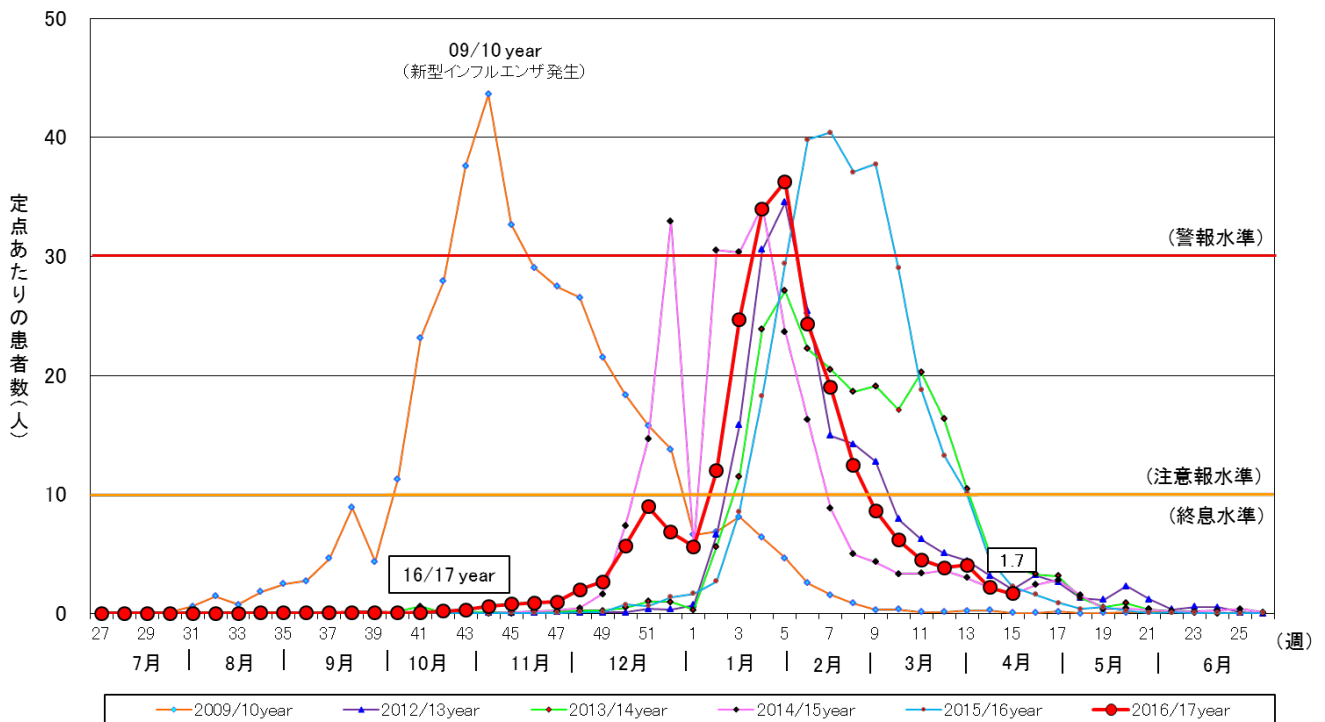
全数把握対象感染症発生状況（五類感染症 梅毒）

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
女	20代	不明	2017年1月24日	2017年4月14日	早期顕症梅毒Ⅰ期	自動化法 T P H A法	硬性下疳	不明	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
A型インフルエンザウイルス （H3亜型）	鼻腔ぬぐい液	中央	11歳男児（3/24採取、38.7℃、インフルエンザ、ワクチン未接種）
	鼻腔ぬぐい液	垂水	29歳男性（3/28採取、39℃、インフルエンザ、ワクチン未接種）、家族内発生
	鼻腔ぬぐい液	中央	8歳男児（4/1採取、39℃、インフルエンザ、ワクチン接種済み）
	鼻腔ぬぐい液	須磨	69歳女性（4/4採取、38.2℃、インフルエンザ、ワクチン接種済み）
B型インフルエンザウイルス （山形系統）	鼻腔ぬぐい液	東灘	4歳女児（3/30採取、39.0℃、インフルエンザ、ワクチン接種歴不明）
B型インフルエンザウイルス （ビクトリア系統）	鼻腔ぬぐい液	西	6歳女児（4/2採取、38.9℃、インフルエンザ、ワクチン未接種）、家族内発生
	鼻腔ぬぐい液	中央	2歳6ヶ月男児（4/3採取、39.8℃、インフルエンザ、ワクチン未接種）、家族内発生
	鼻腔ぬぐい液	須磨	43歳女性（4/4採取、38.5℃、インフルエンザ、ワクチン未接種）
	鼻腔ぬぐい液	中央	5歳7ヶ月男児（4/5採取、39.6℃、インフルエンザ、ワクチン未接種）
ムンプスウイルス	唾液	東灘	2歳女児（4/7採取、38.3℃、唾液腺腫脹）、家族内発生

定点あたりのインフルエンザ患者報告数



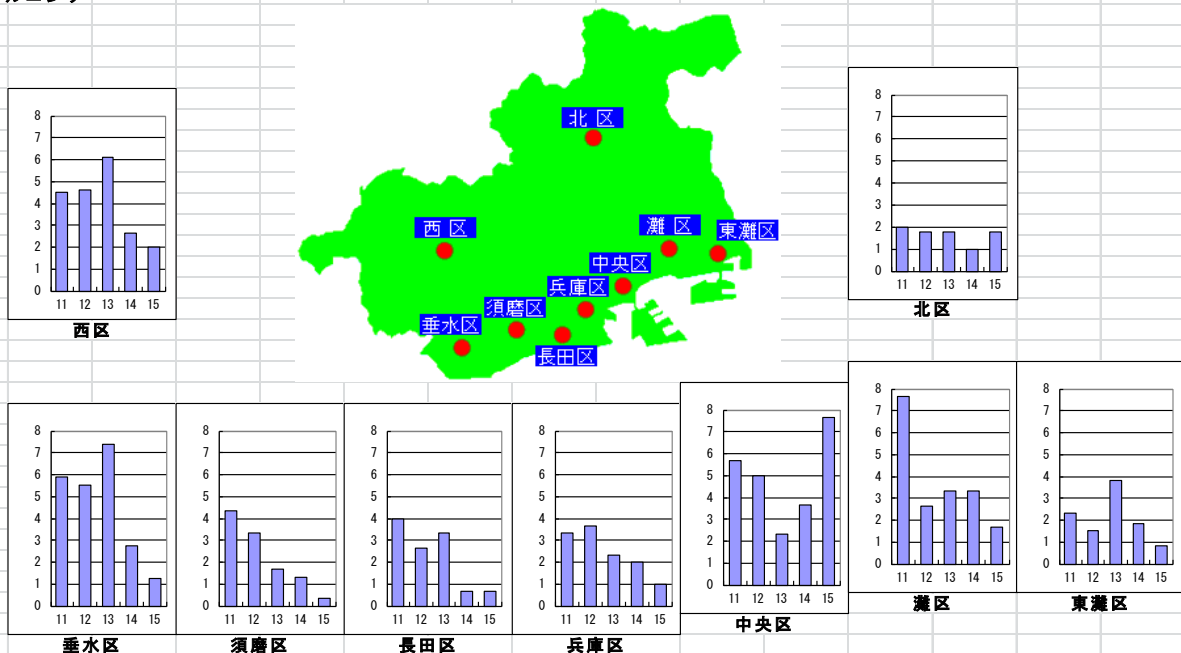
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 11 週 平成29年3月13日

～

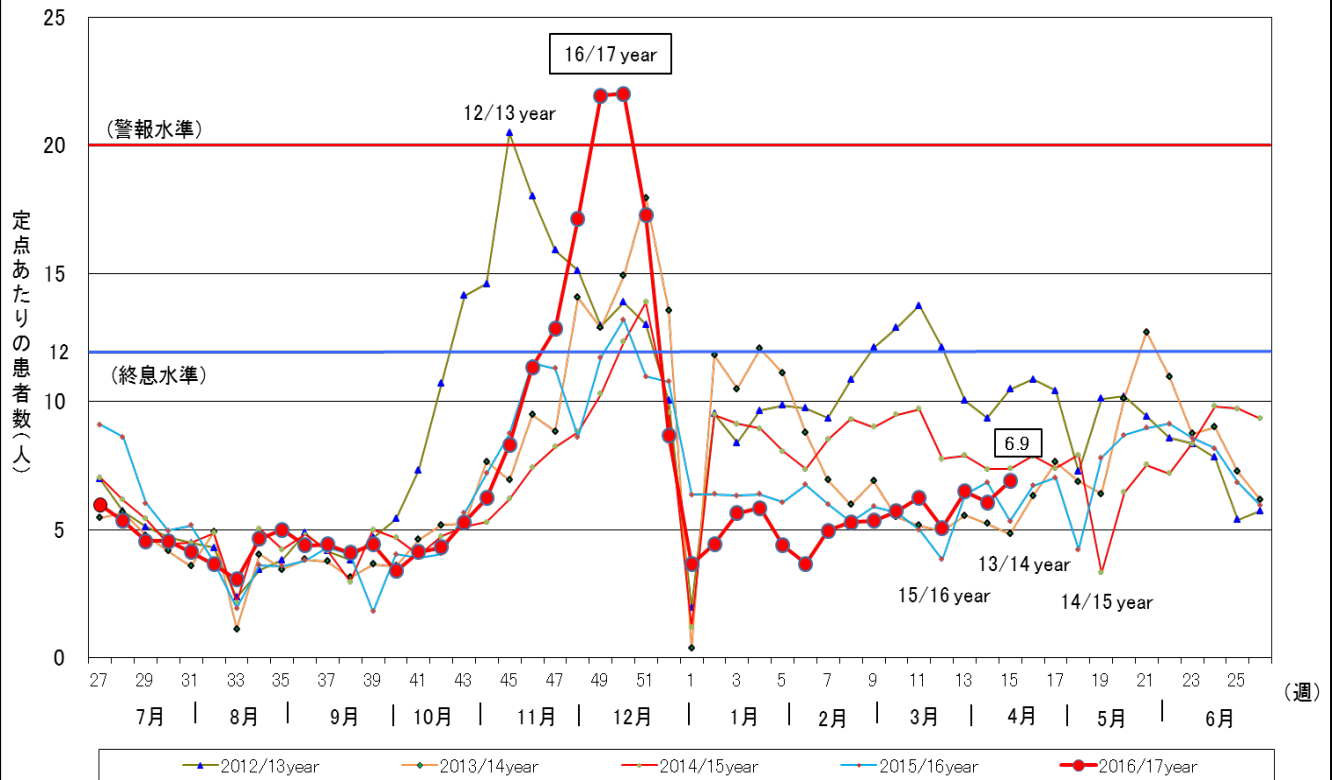
第 15 週 平成29年4月16日

インフルエンザ



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



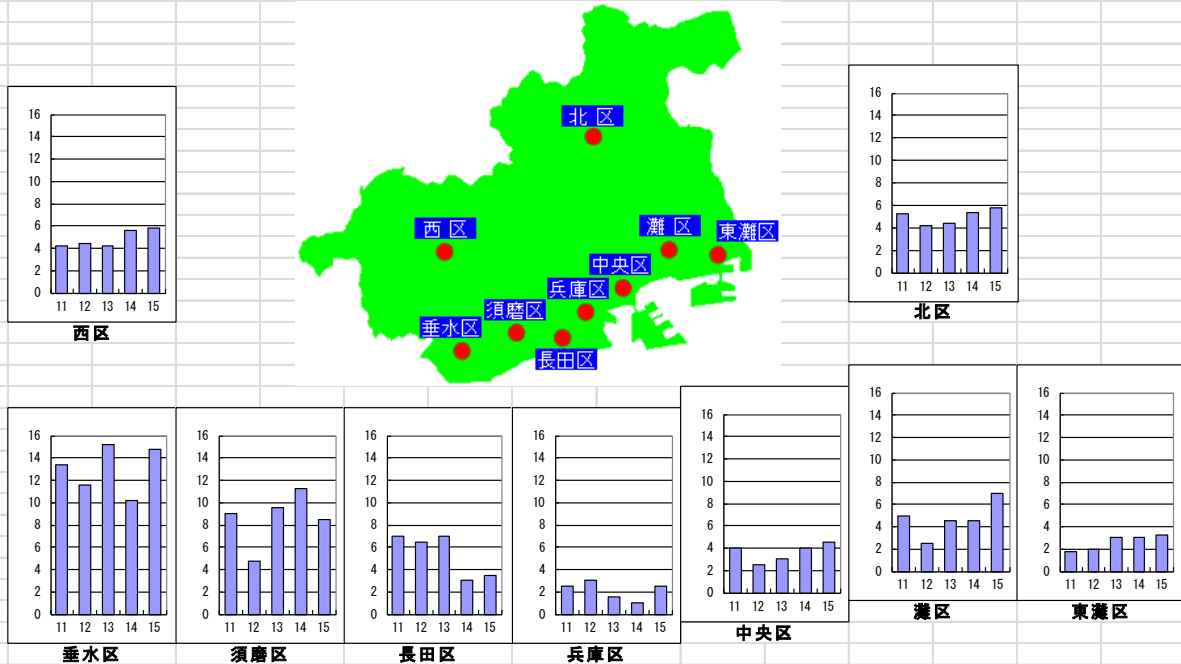
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 11 週 平成29年3月13日

～

第 15 週 平成29年4月16日

感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。